



2023年11月10日

各位

会社名 株式会社ダイイチ
代表者名 代表取締役社長 若園 清
(コード 7643:東証スタンダード、札証)
問合せ先 取締役管理本部長
兼企画IR担当 西崎 進
(TEL. 0155 - 38 - 3456)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2024年9月期から2026年9月期を対象とする「中期経営計画」を策定致しましたので、下記の通りお知らせいたします。なお、計画に関しては、経営環境の変化等に応じて毎年見直しを行い、ローリングしていく方針です。

記

1. 中期経営計画の概要

(1) 対象期間

2024年9月期から2026年9月期まで(3カ年)

(2) 基本方針

『普段の食生活を通じて、地域を笑顔に』

趣旨：社是である「お客様の普段の食生活のお役に立つ」の精神に立ち返り、本業を通じて全てのステークホルダーと共に持続的に発展していくことを目指し、『普段の[=その場限りでない、地域やお客様の日常に根差した、あてになる(信用・信頼される)企業として]、食生活[=本業]を通じて、地域[=地域社会、お客様、株主、従業員などの全てのステークホルダー]を笑顔に[=豊か、幸せ、発展を追求]』の実現に取り組んでまいります。

(3) 位置付け

4年後の飛躍に向けた体制・基盤整備の3年間

(4) 主な戦略

A. “お客様”を笑顔に・・・お客様満足(CS)の向上

商品力の向上、販売力の向上、DX推進、店舗の拡充、発信力の強化

B. “従業員”、“地域”を笑顔に・・・SDGsへの取り組み

人財の強化・育成、労働環境改善、環境保全への取り組み(リサイクル推進、廃棄物削減、排出ガス(CO₂削減))、地域活性化への取り組み(本業を通じた支援)

C. “株主”を笑顔に・・・より健全で効率的な経営の実現と株主への還元強化

収益力の向上(ロス削減、効率化)、ガバナンス体制強化、株主還元強化

(5) 主な経営指標

指標	2023年9月期実績	2026年9月期目標
売上高	480億円	550億円
来店客数(年間)	1,882万人	2,100万人
当期純利益	1,234百万円	1,250百万円

2. その他

詳細につきましては、別添資料をご参照願います。

以上



中期経営計画

対象期間：2023年10月～2026年9月
(2024年9月期～2026年9月期)

1. 現状認識

<Threat (脅威)>

- ・ コロナ鎮静化による行動変化(外食需要回復)
- ・ 物価上昇、エネルギー価格の高騰
- ・ 人口減少、少子高齢化の進展
- ・ 都市部への人口集中、地方の過疎化
- ・ 業種・業態を超えた競争激化
- ・ サイバーリスクの拡大

<Opportunity (機会)>

- ・ 健康・安全・安心への意識の高まり
- ・ シニア需要の拡大
- ・ テクノロジーの進化、デジタル活用加速
- ・ デリバリーニーズ拡大
- ・ キャッシュレス浸透
- ・ サステナビリティ意識の高まり

<Weakness (弱み)>

- ・ 惣菜等オリジナル商品の開発力
- ・ 集中化、機械化(DX等)対応の遅れ
- ・ 現預金比率の高さ(資金の効率的運用に課題)
- ・ 人手不足、人財育成・女性の活用
- ・ ブランド発信力
- ・ 株主還元

<Strength (強み)>

- ・ 商品品質の高さ
- ・ 営業地盤の高いブランド力
- ・ 店内加工比率の高さ(新鮮な商品の提供)
- ・ 財務の健全性(高い投資余力)
- ・ セブン&アイ・ホールディングスとの連携
- ・ ブロック単位の機動的な組織体制

[課題] 商品・販売力・生産性向上、DXへの取組み、人財育成、発信力、株主還元、SDGsへの取組み ⇒ 中長期的な視点での、しっかりとした体制・基盤整備が必要

2. 中期経営計画の基本方針

<社是> “お客様の普段の食生活のお役に立つ”

- <社訓>
- ・ 清潔な店にフレッシュな商品
 - ・ プロ根性でたゆまぬ創意研究
 - ・ 勤勉な努力で生活向上
 - ・ お客様の身になって仕入れと販売
 - ・ 公明誠実に責任完遂

<次期中計の基本方針>

“普段の食生活を通じて、地域を笑顔に”

[基本方針のコンセプト]

“**普段の**[=その場限りでなく、地域やお客様の日常に根差した、あてになる(信用、信頼される)企業として]**食生活**[=本業]**を通じて、地域**[=地域社会、お客様、株主、従業員などの全てのステークホルダー]**を笑顔に**[=豊か、幸せ、発展を追求]”

現状認識を踏まえた課題 = 中長期的視点での、しっかりとした体制・基盤整備

<次期中期経営計画の位置付け>

4年後の飛躍に向けた体制・基盤整備の3年間

3. 中期経営計画の戦略①

(1) “お客様”を笑顔に→お客様満足度(CS)の向上

お客様へのサービス向上を図るため、出店、リテールメディア基盤整備、商品開発体制の強化等、各種体制整備を進めてまいります。

課題	戦略		KPI
お客様ニーズに柔軟かつ的確に対応した高品質・安心・安全な商品の提供	商品力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 商品開発力の強化・・・商品開発体制強化(専担者設置等) 地域ブランド商品化拡充・・・地域業者との連携強化 セブン&アイ・ホールディングスとの連携強化・・・セブンプレミアム拡充等 	<p>◎売上高</p> <p>2023年9月期 480億円</p> <p>↓</p> <p>2026年9月期 550億円</p>
	販売力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 地域・個店別MD強化、水平展開強化・・・ブロック別SV設置 接客力の向上・・・全社的指導体制構築(トップに女性登用) 	
お客様利便性の向上	DX推進	<ul style="list-style-type: none"> リテールメディア基盤整備、試行開始 EC戦略強化、アプリ機能拡充・・・デジタルチラシ等 	<p>◎来店客数</p> <p>2023年9月期 1.8千万人/年</p> <p>↓</p> <p>2026年9月期 2.1千万人/年</p>
	店舗の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 札幌圏を中心とした出店(3年間で3店舗程度) 新概念店舗(環境配慮、省人化、DX)の検討 とくし丸、デリバリーサービスの拡充 	
ブランドイメージ向上	発信力強化	<ul style="list-style-type: none"> HP等によるIR情報、SDGs情報等の発信強化 発信内容、発信媒体の見直し 	

3. 中期経営計画の戦略①・・・補足説明1

●中計期間中に確定している新規出店について

●すすきの店・・・2023年11月30日出店予定

・ホテル、シネコン、飲食店等が入る複合商業施設(COCONO SUSUKINO)への出店。
地下鉄、電車、バスなどが交差する札幌中心地の新たなランドマークの地下2階に出店します。



●千歳店(仮称)・・・2024年秋出店予定

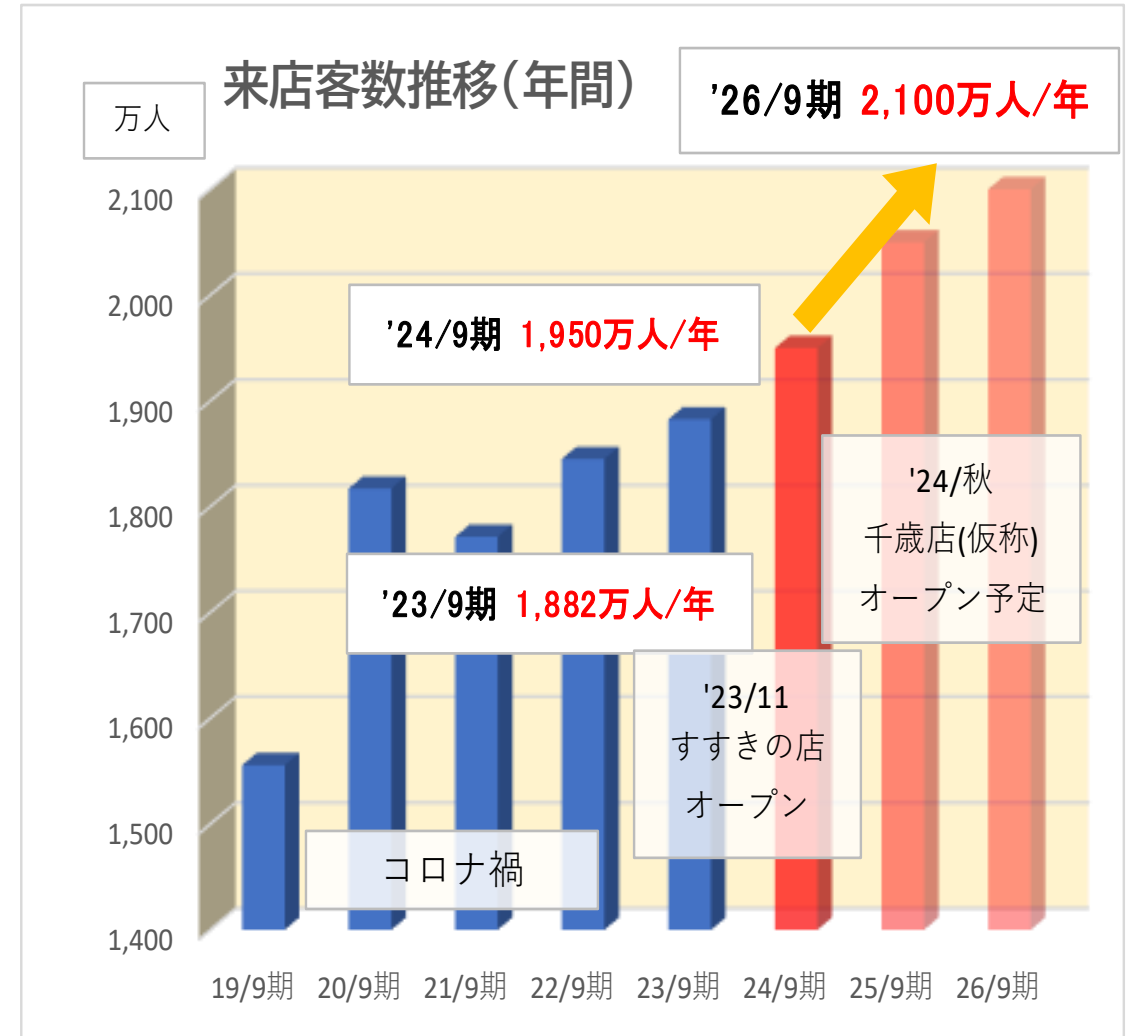
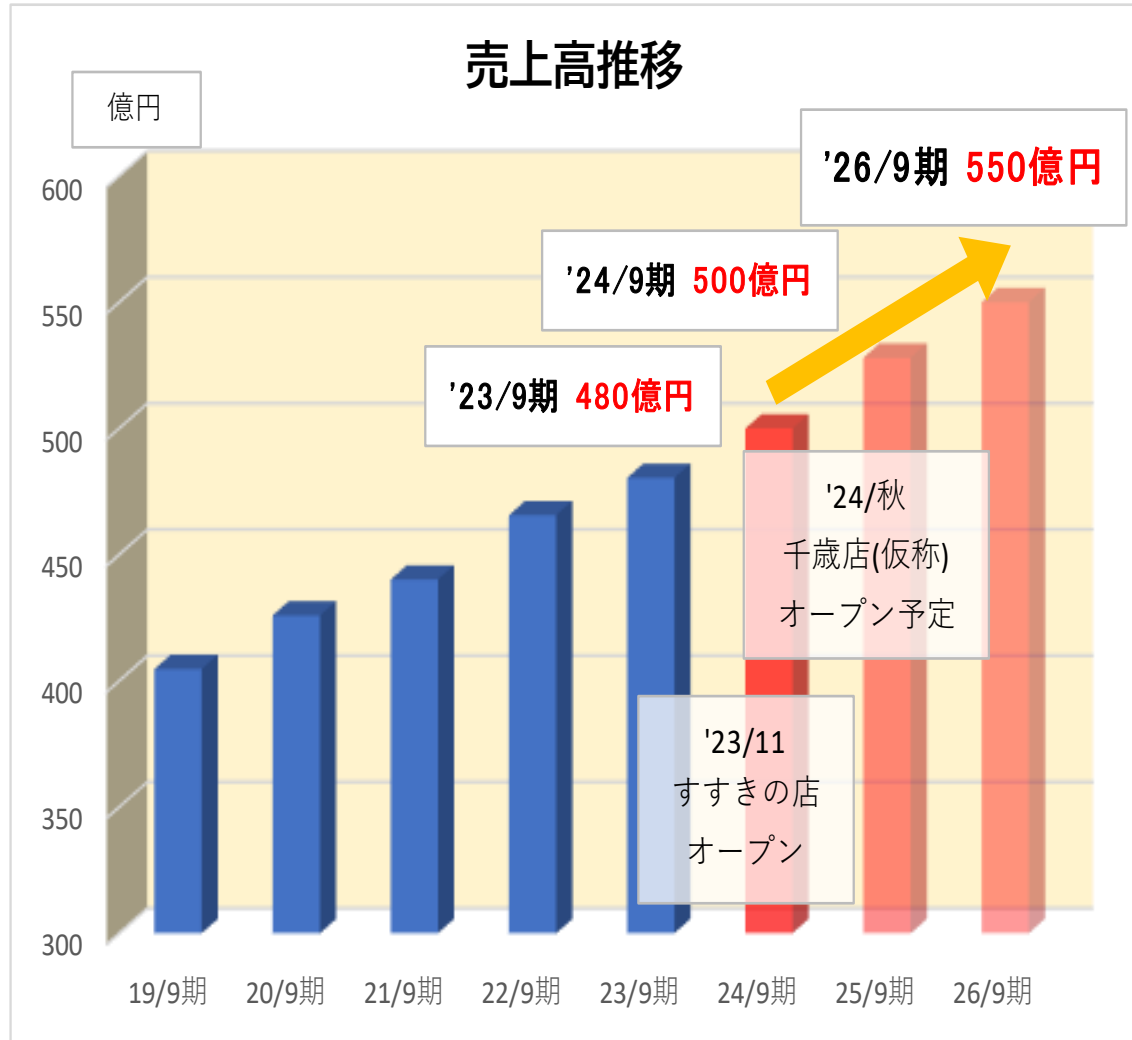
・次世代半導体の量産を目指す「ラピダス」の新工場が進出し、マーケット(居住人口等)の大幅な拡大が期待される地域への出店。
複数の商業施設が一体となったオープンモール型NSCとなる予定です。



3. 中期経営計画の戦略①・・・補足説明2

売上高：初年度の'24/9期に500億円、
最終年度の'26/9期に550億円を目指します。

来店客数(年間)：初年度の'24/9期に2,000万人、
最終年度の'26/9期に2,100万人を目指します。



3. 中期経営計画の戦略②

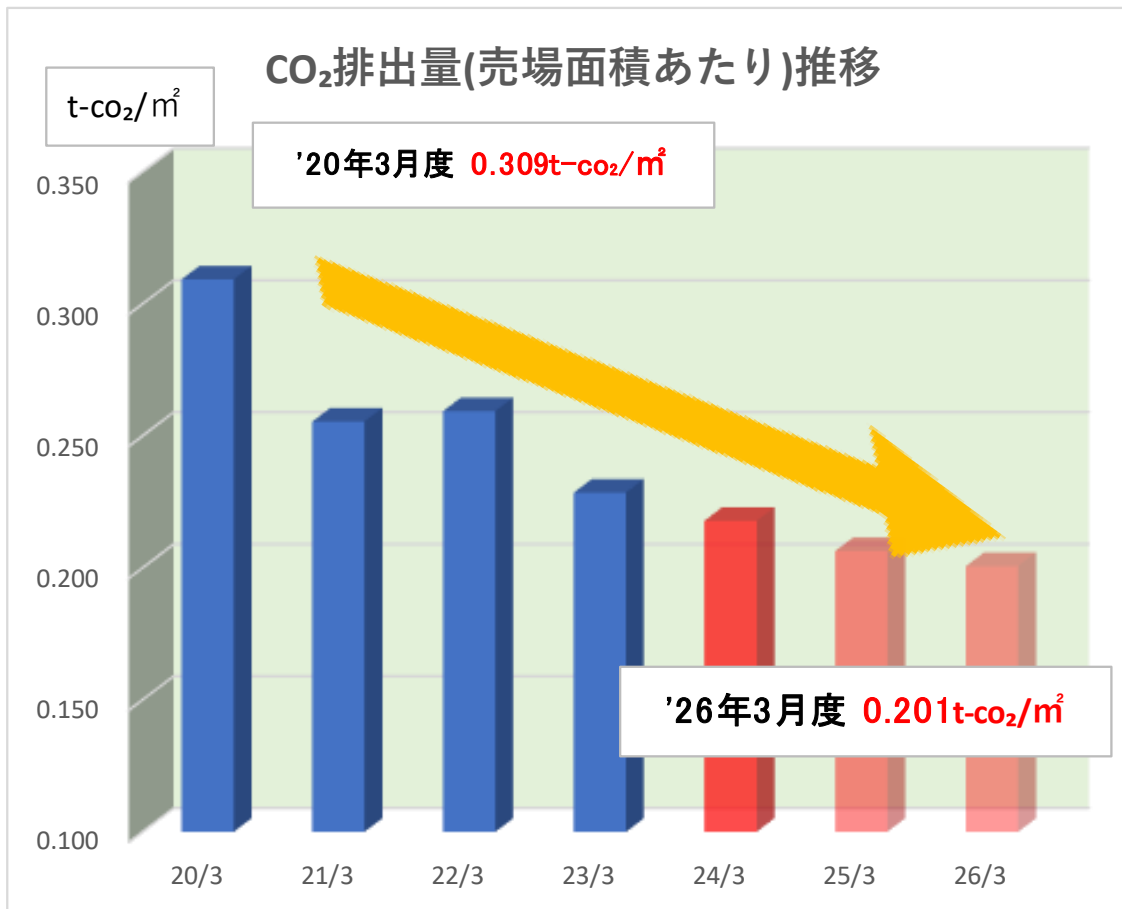
(2) “従業員”、“地域”を笑顔に → SDGsへの取組み

人事関連諸制度の見直し等により、より働きやすい労働環境の構築に努め、質・量両面での人財強化を図ります。併せて、環境保全や地域発展への取組み等、持続可能な社会の実現に取り組みます。

課題	戦略		KPI
労働環境改善、人財の強化・育成	人事諸制度、キャリアパス、研修等の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・労働環境改善・・・人事諸制度の見直し ・女性の積極登用・・・女性向キャリアアップ研修新設等 ・研修制度再構築・・・キャリア等に応じたきめ細かい制度 	<p>◎<u>女性活躍推進法に基づく開示関連計数等(女性の採用割合、賃金割合、管理職割合など)</u></p> <p>↓</p> <p>着実な改善に取り組む</p> <p>◎<u>CO₂排出量削減</u></p> <p>2020年3月度 0.309t-co₂/m²</p> <p>↓</p> <p>2026年3月度 0.201t-co₂/m²</p>
	採用強化	<ul style="list-style-type: none"> ・中途採用の強化とキャリア・能力に応じた積極登用等 ・ブランド発信強化による知名度向上 	
環境保全への取組み	リサイクル推進、廃棄物削減	<ul style="list-style-type: none"> ・フードロス削減 ・リサイクル・エコ資材の活用拡大 ・地元企業等との連携による廃棄物の再活用 	
	排出ガス(CO ₂)削減	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ設備への積極・計画的な入替 ・新概念店舗(環境配慮、低コスト)の検討、出店 	
地域活性化への取組み	本業を通じた活性化支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域教育機関等との連携による食育支援 ・地域ブランド商品化拡充 ・高齢者等支援・・・とくし丸等デリバリーサービスの拡充 	

3. 中期経営計画の戦略②・・・補足説明

CO₂排出量(売場面積あたり、スコープ1(エネルギー使用量ベース))
 : 中期経営計画最終年度の'26年3月度に、'20年3
 月度比で約35%の削減を目指します。



女性活躍推進法に基づく開示関連計数等
 : 女性の活躍支援や労働環境の改善に積極的に取
 組み、下記の関連計数の改善に努めます。

	22/9期	23/9期	改善 状況
採用した労働者に占める女性労働者の割合	59.4%	61.1%	○
労働者に占める女性労働者の割合	64.8%	64.1%	△
管理職に占める女性の割合	4.1%	5.3%	○
女性取締役数	0	1人	○
労働者の1月当たりの平均残業時間(時間)	5.7	5.5	○

女性の平均賃金/男性の平均賃金	22/9期	23/9期	改善 状況
全労働者	62.8%	63.4%	○
正社員	80.5%	82.3%	○
パート・有期社員	85.9%	86.2%	○

3. 中期経営計画の戦略③

(3) “株主”を笑顔に → より健全で効率的な経営の実現と株主への還元強化

中長期的な収益力向上に向けた基盤整備(効率化の一層の推進)とガバナンス体制強化による更なる健全性の向上に努めるとともに、株主還元強化策の検討・実施に努めてまいります。

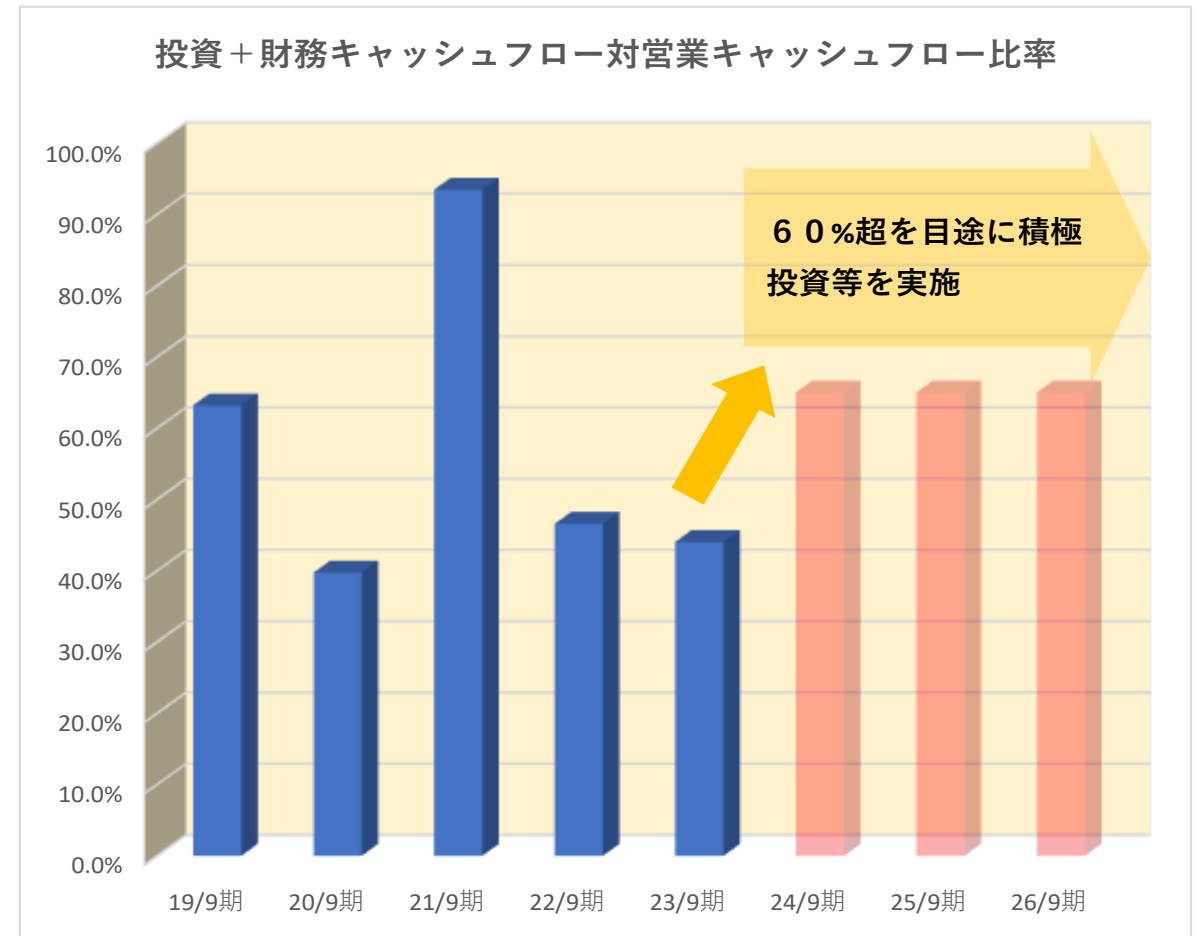
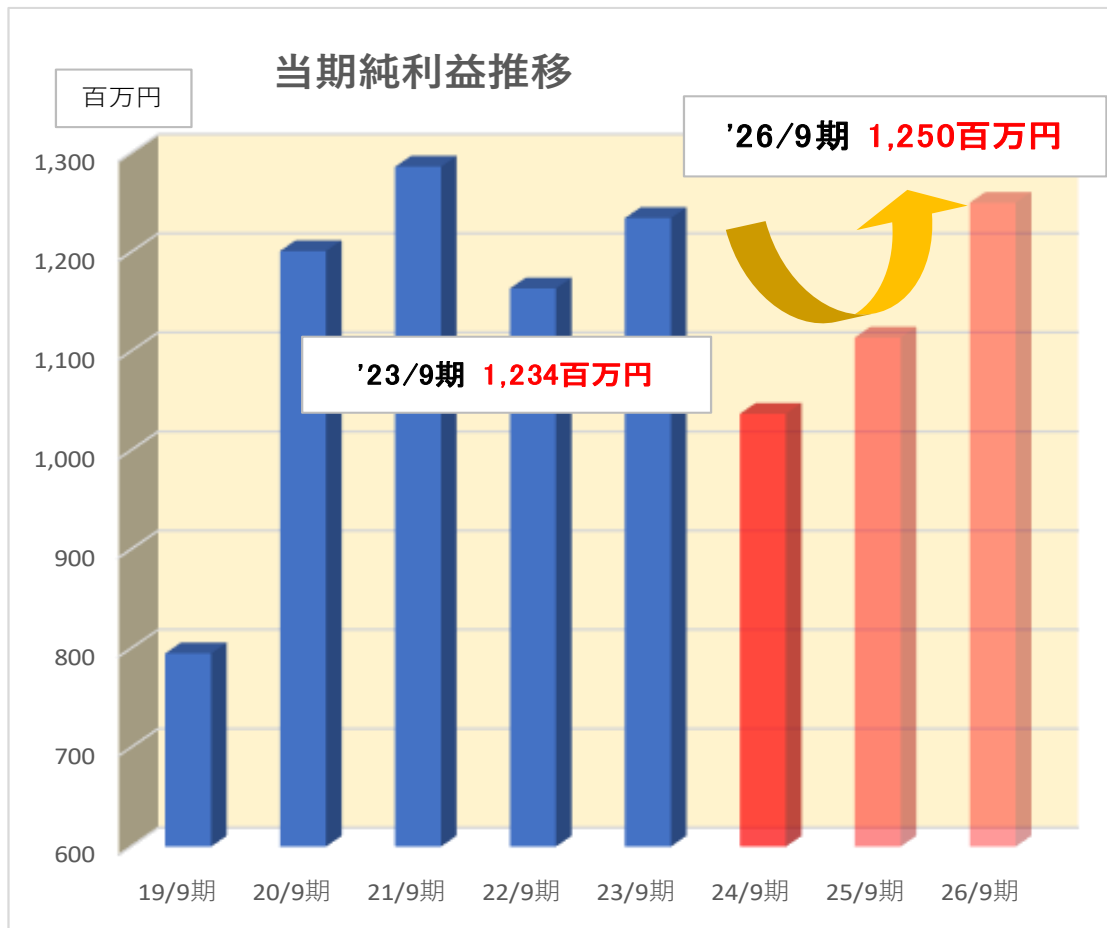
課題	戦略		KPI
収益力の向上	収益性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 在庫管理の厳格化によるロス削減 セブン&アイ・ホールディングスとの連携強化・セブンプレミアム拡充等 省エネ設備への入替による水光熱費削減 	<p>◎当期純利益</p> <p>2023年9月期 1,234百万円</p> <p>↓</p> <p>2026年9月期 1,250百万円</p>
	効率化	<ul style="list-style-type: none"> DX (RPA、AI発注、電子棚札等)の導入検討 セブン&アイ・ホールディングスとの連携強化 ・・・仕入,生産,配送等の共同化 集中化(セントラルキッチン、プロセスセンター)検討 	
株主還元強化	増配	<ul style="list-style-type: none"> 記念配当の実施('23/9期予定) 通常配当額引上げや中間配当の実施検討 	<p>◎投資+財務キャッシュフロー対営業キャッシュフロー比率</p> <p>2023年9月 44%</p> <p>↓</p> <p>中計期間中 60%超</p>
	自己株取得	<ul style="list-style-type: none"> 収益状況等に応じた自己株式取得の検討 	
ガバナンス体制強化	コンプライアンス徹底、リスク管理強化	<ul style="list-style-type: none"> 継続的なコンプライアンス研修の実施 リスク管理体制強化(情報セキュリティ強化等) 	

3. 中期経営計画の戦略③・・・補足説明

当期純利益：出店並びに各種インフラ整備等により、一旦当期純利益は減少しますが、中期経営計画の最終年度には、'23年9月期並みに回復させる予定。

投資＋財務キャッシュフロー対営業キャッシュフロー比率：

$$\frac{-(\text{投資キャッシュフロー} + \text{財務キャッシュフロー})}{\text{営業キャッシュフロー}}$$
 資本収益性・資本コストを意識した取組みに関する指標。事業規模拡大投資、効率化投資、人財投資、株主還元等を営業キャッシュフローの60%超を目途に積極実施していきます。



3. 中期経営計画の戦略④

(4) ESGへの取り組み

環境(Environment)

- ・フードロス削減
- ・リサイクル・エコ資材の活用拡大
- ・地元企業等との連携による廃棄物の再活用
- ・冷熱設備の精緻な温度管理等による節電努力
- ・省エネ設備への積極・計画的な入替
- ・新コンセプト店舗(環境配慮、低コスト)の検討

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



13 気候変動に
具体的な対策を



社会(Social)

- ・安心、安全、新鮮な商品の持続的提供
(食のラインラインとしての使命を全うし続ける)
- ・地域教育機関等との連携による食育支援
- ・地域ブランド商品化拡充
- ・高齢者等支援
- ・・・とくし丸等デリバリーサービスの拡充

3 すべての人に
健康と福祉を



11 住み続けられる
まちづくりを



ガバナンス(Governance)

- ・コンプライアンスの徹底
- ・リスク管理体制強化
- ・女性の育成強化、積極登用
- ・中途採用の強化とキャリア・能力に応じた積極登用等
- ・研修制度再構築

5 ジェンダー平等を
実現しよう



8 働きがいも
経済成長も



株式会社ダイイチは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。